

研究課題「AI を活用した次世代レポートシステムの開発」に関する情報公開

1. 研究の対象

2006年4月1日～2016年3月31日に当院でX線CT検査を受けられた成人の方

2. 研究目的・方法・研究期間

<研究目的>

X線CT検査は、患者さんに苦痛を与えることなく体内の病気を診断できる非常に有益な検査です。名古屋大学医学部附属病院でも年間4万件近くのX線CT検査が行われていますが、その全例に放射線診断専門医による診断結果（読影レポート）が添付されています。現在のレポート作成業務においては、読影医が画像所見をワープロで文書入力しており、検査件数の増加によりその労力が増えています。画像診断の質を保つためには人工知能（AI）を活用した読影医の労力低減が必要不可欠と考えられます。そこで本研究では、最新のAI技術を活用した読影のレポート作成支援システムを開発し、読影業務の効率化を目指します。

<研究方法>

2006年4月1日～2016年3月31日に名古屋大学医学部附属病院で撮影されたX線CT検査とその読影レポート（約410,000検査）の中から最大200,000例を抽出し、院内で診療番号や氏名を匿名化したうえで、匿名化した画像データと読影レポートを共同研究機関（富士フイルム株式会社）のAIで解析し、読影レポート作成支援システムを開発します。

<研究期間>

研究実施承認日～2022年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：X線CT画像、読影レポート 等

4. 外部への試料・情報の提供

X線CT画像・読影レポートについては専用のソフトウェアを用いてID・氏名を匿名化し、外付けハードディスクに保存し、共同研究機関（富士フイルム）に書留郵便で送付するか研究責任者が直接持参し、AIによる画像解析を行います。

対応表は研究責任者が名古屋大学大学院医学系研究科量子医学研究室の鍵のかかる保管棚で厳重に保管・管理し、共同研究機関には提供されません。

5. 研究組織

名古屋大学大学院医学系研究科量子医学・教授・長縄慎二

名古屋大学大学院医学系研究科量子医学・准教授・岩野信吾

富士フイルム株式会社・メディカルシステム事業部 IT ソリューション部・丸岡大輔

富士フイルム株式会社・画像技術センター・李元中

富士フイルム株式会社・画像技術センター・中村佳児

富士フイルム株式会社・画像技術センター・平川真之介

富士フイルム株式会社・画像技術センター・一ノ瀬晶路

富士フイルムソフトウェア株式会社・ソフトウェア開発本部・桃木陽平

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科量子医学 岩野信吾

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65

直通電話番号：052-744-2327

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科量子医学 長縄慎二

研究代表者：名古屋大学大学院医学系研究科量子医学 長縄慎二